

(2005年設立) 四国4チームと紀州レンジャーズの5チーム (2)BCリーグ (2007年設立) 4県でスタート 福井、群馬が2008年加盟 (3)関西リーグ (2008年設立) 5チーム (4)日本女子プロ野球機構 (2010年設立) 2チーム(株)わかさ生活が経営

【BCリーグとは】

▽BCリーグ憲章・BCリーグは地域の子供たちを、地域とともに育てることが指名である。・BCリーグは常に全力でプレーを行うことにより、地域と地域の子供たちに夢を与える。・BCリーグは野球場の内を外を問わず、地域と地域の子供たちの模範となる。

▽6県のチームが参加 (上信越地区) 群馬、長野、新潟 (北陸地区) 富山、石川、福井

▽①試合 前期4～6月 36試合 (ホーム18試合) 後期7～9月 36試合 (ホーム18試合) 計72試合 (ホーム年間36試合) 9月末～10月がプレイオフ

▽②地区前期・後期優勝チームで優勝決定戦 プレイオフ 先に2勝でV

▽③北陸地区優勝チーム対上信越地区優勝チーム プレイオフ 先に3勝でV

▽④BCリーグ優勝チーム対四国リーグ優勝チームと日本一決定戦 先に3勝でV

【福井ミラクルエレファント】

(運営会社の変遷)
2008年4月 (株)スポーツコミュニティ福井が経営。
2009年6月 7月後期から福井新聞社が経営を引き継ぐ。
2010年2月 (株)福井県民球団が新たな運営会社にて。

北陸地区 後期優勝
2011年 北陸地区 後期優勝
2012年 北陸地区 後期優勝→北陸地区 年間優勝 (初) (選手の動き)

▽2013年 3月15日～3月末：キャンプ (3月初旬から集合自主練習) 4月初旬：BCL開幕
11～2月：選手はアルバイトしながら自主練習

【球団の社会貢献活動】

・警察関係(子供見守り隊、交通安全教室、防犯活動など)
・県関係(国勢調査、国政選挙への広報活動)・市町(県内各地で野球教室、養護学校訪問)・福祉施設(障害者月間に啓発活動) 概ね年間90～100回活動

【球場でのボランティア状況】

・球場で会場設営とチケットもぎりなど(男性5～6人)
・チケット販売、球団グッズショップ(女性2人)
・スタンド内で危険球の合図(男性2人)

12月の例会案内

4日 年次総会 第1例会行事 同好会活動	11日 会員卓話 石川満夫会員	18日→15日 クリスマス家族会 セントミッシェル教会	25日 中壢姉妹クラブ 締結記念例会
-------------------------------	-----------------------	-----------------------------------	--------------------------

・SBO(ストライクなどの電光)(男性1人)
・ボールボーイ(1塁側、3塁側)(小中学生6人)
ホーム試合毎回15～16人
(球場でのイベント)

・始球式(会社PRも可能)
・開会式での国歌斉唱 中学生や高校の合唱部5～6人
・5回時の休憩タイム(10分間) 太鼓演奏やよさこい、フラダンス、ブラスバンドなど披露。

【後援会組織】(エレファンクラブ)

個人会員：2013年 5千円コース、1万円コース 1000人。
法人会員：2013年 3万円コース、5万円コース (球場での物販販売、宣伝) 150社 チーム会員：10チーム (地区後援会)

・美浜町後援会 (2010年)、若狭町後援会 (2011年)、越前市後援会 (2012年12月予定)
・おおい町、坂井市、越前市、福井市などが県内外の球場で宣伝を行っている。

【入場者数】 年間ホーム36試合で20,000人～35,000人が来場。

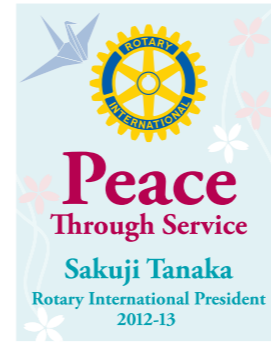
【NPB(日本プロ野球機構)への入団】

BCLからは2012年までの計16人、うちエレファンツから4人。

- ・2008年 柳川洋平選手 (ソフトバンク育成指名)
- ・2009年 前田祐二選手 (オリックスより ドラフト4位指名)
- ・2012年 森本将太投手 (オリックスより5位指名)、西川拓喜選手 (同 育成指名)



ニコニコ箱 …… 6,000円
○佐々木会長 ○渡辺佳男 ○橋本幸恵



2012-2013 RI テーマ
奉仕を通じて平和を



創立/1954年(昭和29年)6月30日
事務局/〒915-8522 越前市塚町101 武生商工会館内
TEL.0778-23-5210・FAX.0778-22-2333 E-mail:takefurc@es.ttn.ne.jp
例会日/毎週火曜日 例会場/武生商工会館
会長/佐々木忠彦 幹事/河嶋 一 会報委員長/丹羽新吾

2012-2013 第2650地区テーマ
隔たりをなくそう

第2845回 例会記録 平成24年11月20日(火)

会員総数61名(内出席免除会員8名) 本日出席会員34名
メイクアップ(前々回) 8名
出席率(前々回補正) 78.18%
ロータリーソング「四つのテストの歌」
ゲスト (株)福井県民球団(福井ミラクルエレファンツ) 代表取締役 新谷隆美氏

会長挨拶 佐々木会長



明後日は二十四節気でいえば「小雪」です。小雪がちらつき始めるという意味です。北海道や東北などでは降り始めます。関東や東海以南ではまだ降りませんが、陽射しは弱くなり、紅葉が散り始めます。次第に冬らしさを感じられるようになる頃です。

将棋の羽生善治名人(41)のお話をさせていただきます。天才棋士は何手先まで読むのだろう? 羽生さんは私たち素人の誰もが知りたい疑問に答える形で、棋士がどんな風に考えているのか話されました。

「一番最初に使うのが《直感》です。一つの場面で約80通りの可能性がある。その中から二つか三つを瞬時に選択する。1秒にも満たないわずかな時間の中で、なぜそれを選ばなかったのか、なぜそれを選んだのかをきちんと論理立てて説明できるのが直感です。

その上で具体的に先を《読む》プロセスに入る。三つの選択肢には三つの選択肢があり、さらに三つの選択肢が付いてくる。そう考えて行くと、6万通りにもなってしまう。その一つ一つを確かめることはできません。

そこで三番目に必要になるのが《大局観》です。ここは積極的に動いたほうが良いと大局観でわかれば、過去も振り返り積極的な選択はどれかということだ

けに集中して考える。大局観とは状況判断ができる力、本質を見抜く力です。」

直観、読み、大局観という羽生さんの「三原則」を聞きながら、棋士の一手一手にはそれまで集積された、あらゆる知恵や経験を動員した「決断」があるのでした。「七冠」を達成した後、米長邦雄さんに、釣った鯛を例えにこう諭されたという。「じっと見てもすぐには何も変わりません。しかし、間違いなく腐ります。時の経過が状況を替えてしまうからです。だから今は最善だけど、それは今の時点であって、今はすでに過去ののです。」

勝負の世界では「これでよし」と消極的な姿勢になることが一番怖い。常に前進を目指さないと後退が始まってしまいます。米長さんの戒めを羽生さんは今も胸深く刻んでいるという。

《勝つのは一点差でいい。常にギリギリの勝ちを目指している方がむしろ確実性が高くなる》

《オールラウンドプレーヤーでありたい。一つの形にとらわれず、色々な形ができる、そんな棋士であり続けたいと思っている。そのためにも「自分の得意な形に逃げない」ということを心がけている。》とおっしゃっております。

野球選手も直感で試合中は動くケースもあるのかも知れません。今日の卓話を楽しみにしております。

今日の一言：「夢は見るものではない、追うものだ。」

プログラム

「福井の元気と福井ミラクルエレファンツ」
(株)福井県民球団 代表取締役 新谷隆美氏



【プロ野球独立リーグとは】
地域の活性化と発展に貢献し、NPB(日本プロ野球機構)を目指す選手の育成を目指す。
【国内には4つのリーグ】
(1)四国アイランドリーグPlus